

令和5年度事業報告

～ ご利用者様の笑顔のために、クレドを根本に言動（発言と行動）を改めよう ～

1. 人間関係の Ver.UP ↑

人間関係を良くするための取り組みを進めた結果、離職率が 18.92%から 16.44%へと改善しました。

2. 人材確保と人財育成（教育）で成長力 UP ↑

新型コロナウイルスがV類に見直されたことを受け、社会全体の態様が大きく変化し、介護人材の確保が今まで以上に厳しい状況となっています。その状況下において、他施設・他法人に比べると比較的人材確保がスムーズにいています。

また、自法人独自の教育システムである基礎研修・リーダー研修を実施し、職員の成長へとつなげることができたとともに、認知症実践者研修修了者1名、ユニットリーダー研修修了者1名、介護福祉士合格者5名、居宅介護支援専門員合格者1名も輩出し、少しずつ成長できていると考えています。

3. 業務の効率化 UP ↑ と経営改善で業績 UP ↑

業務の効率化を図るため、ハンズフリーで介護記録が可能な「ケアカルテ」の導入するため、大阪府の介護 ICT 導入事業に申請したところ採択されました。また、研修を行う担当者の負担軽減並びに受講者が短時間かついつでも受講可能なオンライン研修システムの DM スタディの導入も行うこととなりました。

経営改善・業績UPについては、売上は増加したものの、世界情勢の不安定化に伴う物価高騰、新しいシステム導入のための準備費用、最低賃金の見直しに伴う人件費の増加などから業績が悪化しました。ただ、秋ごろから使用電力の見える化をするなど努力した結果、水道光熱費が昨年差で350万ほど安くすることができました。

その他【社会情勢の変化への対応】

1. 新型コロナウイルス感染症の取り扱いに対する社会の変化への対応

面会制限の緩和など、情勢に合わせて適時見直しを行ないました。

2. 令和6年度介護保険改正への対応

令和6年3月末で猶予期間が終了する各種規則に対応するとともに、令和6年4月の改正に向けた取り組みを進めました。

令和5年度 事業報告

【 年間スケジュール 】

| 月 | 全体 | 特養 | GH | 認知デイ | 看多機 |
|-----|-------------|----------------------|-------------------------------|----------------------------------|---|
| 4月 | | 花祭り 喫茶レク | お花見 食事レク ・歌レク 屋上で食事 | お花見行事 お茶会 食事会 (和食) | お花見 鯉のぼり作り ハッピーランチ(屋上) ガーデニング |
| 5月 | 芥川高校太鼓 | 音楽会 | こどもの日・母の日 BBQ 食事レク | こいのぼりフェスタ観賞 勝竜寺ツアー 野外食事会 | 母の日(フラワーアレンジ) ランチピクニック (安満) おやつ作り |
| 6月 | 消防訓練 | アイスクリームパレード ゲーム大会 | 父の日 食事レク 梅干し作り 職員面談 | 変身ショー 長岡天神 職員面談 | 父の日 ハッピーランチ うちわづくり |
| 7月 | | スイカ割り 七夕まつり 足湯 | 七夕 食事レク | スイカ割り 今城の丘散策 音楽会 (職員から贈る) | 七夕飾り ハッピーランチ(BBQ) スイカ割り |
| 8月 | 夏祭り | 花火大会 | 夏のコンサート・スイカ割 花火大会 食事レク | 水鉄砲大会 悪い顔選手権 | 盆踊り大会 ハッピーランチ(フードコート) おやつ作り |
| 9月 | | 敬老祝賀会 | 敬老会 食事レク | BBQ 敬老の日 今城の丘どんぐり拾い | 敬老祝賀会 職員面談 散歩(すすきの道) |
| 10月 | 運動会 | ゲーム大会 | BBQ 食事レク | 運動会 (ミニ) | 買い物(イオン) ランチピクニック(万博) 運動会 |
| 11月 | 収穫祭 消防訓練 | 喫茶レク | 柿狩り・干し柿づくり 食事レク | 紅葉狩り(若山神社) BBQ | 紅葉狩り(水無瀬) ハッピーランチ(BBQ) 文化祭 ガーデニング |
| 12月 | 餅つき | クリスマス会 | クリスマス会 ・ハンドベル・歌レク 餅つき 食事レク | クリスマスコンサート 忘年会 | クリスマス会 ハッピーランチ 年末福引大会 |
| 1月 | | 初詣 鏡開き | 初詣 鏡開き 食事レク 初笑い→獅子舞 | 初詣 お楽しみ会(初笑い) 獅子舞 | 初詣 書初め 新春演芸会 ハッピーランチ |
| 2月 | | 節分 | 節分 紙芝居 食事レク | 節分 梅見学(勝竜寺か長岡天満宮) | 節分 ハッピーランチ バレンタイン(フラワーアレンジ) |
| 3月 | | ひな祭り | ひな祭り 食事レク 職員面談 | ひな祭り記念撮影会 梅見学(勝竜寺か長岡天満宮) 職員面談 | 季節のおやつ作り ハッピーランチ ひな祭り 職員面談 |

令和5年度 事業計画報告

【 特別養護老人ホーム 上牧の郷 】

<数値目標>

1. 実稼働率 98%目指します
2. 職員定着率 90%を目指す
3. 1日1件見過ごしているヒヤリハットに気づく

<報告>

1. 実稼働率 97.9%で達成できませんでした。
夏後半から冬にかけて看取りでご逝去される方が重なり、新規入居の対応が遅れたことが要因です（ご逝去：8名、入院後の転院：1名）。
2. 職員の退職者は6名で定着率 78%となり、達成できませんでした。
3. 年間100件（平均8.3件/月）と達成できませんでした。

<行動目標>

1. その人らしい生活を支援するため、ユニットケアに取り組む。
2. 経費削減に取り組む
3. 10周年に向けてオープンな特養を目指す。

<報告>

1. ユニットケアを推進するため、ユニットケア研修施設 2 箇所を訪問させていただき、良いと思ったところ、真似したいところなどを各々が持ち帰り、自施設に取り入れました。また、ユニットケアの実現のため、入居者様お一人お一人のことを考え、その人らしく生活していただけるよう個別ケアに取り組みました。ただ、全職員が取り組んでいるとはまだ言えないところが、今後の課題だと思っています。
2. オムツ研修を行い、各入居者様のパットの形態・使用回数等の改善に取り組み、前年度よりオムツ・パットの使用量が減らすことに成功しました。
3. 6月より特養のインスタを開設し、ご入居者様・ご家族様にととても喜んでいただいています。また、積極的に面会制限を緩和し、3人と1匹という制限は残しておりますが、居室での面会を再開させ、ご家族もご入居者様も実際に生活している環境での面会にたいへん喜んでおられます。特に、ペットも大丈夫だということ喜んでおられるご家族様が多いです。

各ユニットでは、歌会、ゲーム、おやつレク等様々なレクリエーションを実施しましたが、特に焼き芋をした際には、その匂いに他のユニットから「いい匂いがする」と来られることもあり、「匂い」が大切だと改めて感じました。

ご入居者様ごとの取り組みでは 誕生日会の開催や里帰り、結婚記念日のお祝いなど、看取りの方もいらっしゃる中で悔いの残らないケアに取り組めました。

令和5年度 事業報告

【 上牧の郷 グループホーム 】

<数値目標>

1. 実稼働率99.0%を目指す
2. 職員定着率100%を目指す
3. 職員一人当たり1月に1件、見過ごしているヒヤリハットに気づく

<報告>

1. 稼働率96.9%で達成できませんでした。
5人の方を看取らせていただいたことと、医療措置を求めて一人の方が退居されたことを合わせ、一年間で過去最多となる6人の方が退居されたことが大きく影響を受けました。新規入居者の獲得は、今後の課題となっております。
2. 3名の退職者があり達成できませんでした。
職員のモチベーションの向上が課題となっております。
3. 達成率は3.3%で、達成できませんでした。
気付きを職員同士で共有する機会が増えました。

<行動目標>

1. 認知症介護のプロとして、全職員が標準的な認知症ケアを行えるようにする
2. ご利用者様が生きてて良かったと思える、楽しみのある生活に取り組む
3. 職員同士が家族のように助け合う暖かい空間づくりを目指す

<報告>

1. 認知症実践者研修修了者を一名、介護福祉士の合格者を三名輩出することができました。
また、認知症実践者研修で学んだことを職員研修等で共有を図り、実践につなげました。
2. 居室担当が中心となってご利用者様の希望を聞き、ラーメンを食べに行ったり、買い物に出かけたり、花壇づくりを一緒に楽しんだりと個別レクに取り組みました。定番の食事レクも、ご利用者様に食べたいものを聞いて、お寿司や餃子、お好み焼きなど食べていただきました。
3. チームワーク研修を取り入れて、職員同士の前向きな関係づくりに取り組みましたが、思うような結果が得られず、複数の退職者を出してしまいました。

新型コロナウイルス感染症がV類に見直されたものの、一年間を通して、新型コロナウイルスの発症が一度、その他感染症のまん延が二度あり、居室対応するなど行動制限を執る機会が複数回あったことから、ご利用者様が意欲低下となる場面が多くあったことは大きな反省点です。

令和5年度 事業報告

【 看護付小規模多機能ホーム 上牧の郷 】

<数値目標>

1. 登録率 100%を目指す
2. 職員定着率80%を目指す
3. 1カ月に一人一件の見過ごしているヒヤリハットに気づく

<報告>

1. 最大登録率92%、平均登録率80%で目標を達成できませんでした

8～10月は23名の登録があったものの、それ以降に相次いでご利用様が施設入所されることが続き、12月以降の登録は20名を下回ってしまいました。早急に登録者数の回復を図るべく営業活動に取り組むものの、看護小規模多機能というサービスについての世間の認知度が低く、思うような成果が得られませんでした。

2. 職員定着率は88%と達成しました

看護師については新人研修をカリキュラムに沿って行い、100%の定着率でした
介護士については、居宅介護支援専門員資格を取ったことから転職する等がありました

3. ヒヤリハットは月平均14件で達成しました

毎月1件以上ヒヤリハットを提出し、職員会議で共有することをルーティーンとして取り組み、事故の防止にもつながりました

<行動目標>

1. より良いサービス提供のため、職員全体のチームワークの構築を図る
2. ご利用者様の笑顔のために、良いと思えることには何にでもチャレンジしていく
3. 職員一人一人の資質向上を図り、ご利用者様へ最高のサービスを提供する
4. 節電や経費節減、業務改善に取り組む

<報告>

1. 職員全体のチームワークの向上が図れました

「ありがとう」の言葉が多く見られ、何でも言い合える関係性が出来、職員が新しいアイデアを提案することもできました

また、すべての職員が協力するためお互いが注意し合い、またヒヤリハットの報告などで、自分の失敗を他の職員のために活かそうとする場面が増えました

2. たくさんの新しい試みにチャレンジすることができました

外出や創作など動きのある活動が増えたため、ご利用者様と職員の笑顔が増えました

また、それぞれのご利用者様に合わせた個別ケアや個別の日常動作訓練に積極的に取り組み、できることが増えたにご本人やご家族に喜んでいただきました

3. それぞれに必要な研修や面談に取り組みました

認知症基礎研修や基礎研修を対象の職員が受講し、また看護師による医療の知識や対応の研修を行いました

毎月の職員会議ではテーマを絞り研修を行い、質問や討議が十分行きやすい雰囲気作りも行いました

4. 節電や経費節減、業務改善に取り組みました

協力して空調の温度調節など声を掛け合って取り組みましたが、ICT化への取り組みは出来ず、次年度の課題となりました

令和5年度 事業計画報告

【 上牧の郷デイサービスセンター 】

<数値目標>

1. 利用稼働率 平均85%を目指す
2. 職員定着率100%を目指す
3. 職員1人1か月に1件見過ごしているヒヤリハットに気づく

<報告>

1. 利用稼働率 平均85% 達成できました
ショートや施設入所等で上手く新規利用者を受け入れることができました
2. 職員定着率 100% 達成できました
面談や職員会議等で自分の考えていることを自由に話せる場を設けました
3. ヒヤリハット 1か月 平均15件 と達成できました
小さなことに気づいて記入することが定着できました

<行動目標>

1. ご利用者様・ご家族様に選ばれるデイサービスを目指す
2. 笑顔で明るい対応を徹底し、ご利用者様・ご家族様との信頼関係を深めていく
3. 職員一人一人の目標を明確にし、ケアの質の向上を目指す
4. 無駄を省き、経費削減に取り組む

<報告>

1. 認知症による周辺症状の中でも、特に難しい場合でもなんとかしてもらえるとの評判が定着しており、たいへん歓迎されています。音楽活動が活発であることについても同様であり、ご利用者様・ご家族様等から楽しみにしていただいています。また、Instagramを活用した情報発信に力を入れたことで、ご家族様から毎回楽しみにしている等の声を聞くようになりました。
2. 毎日笑顔の写真を連絡帳に貼ってお知らせすることで、ご家族様からデイでの様子がよく分かると信頼を得る一助となっております。また、実際のデイでの様子を見ていただくために、毎年恒例となるクリスマス・コンサートを開催したところ、2日間で9組のご家族に参加していただき、たいへん喜んでおられました。
3. 年度初めに目標設定のためのアンケートを行ない、それを元に面談を実施、個人目標を明確にした。その後、日常業務の間に進捗状況を確認し、ケアの質の向上に取り組みました。
4. 外気を上手に活用し、電気代の節約に取り組みました。また、物を大切に扱うという基本を徹底し、余計な出費を出しませんでした。

【総括】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことで、全体的に人の動きが変わってきたように感じた1年でした。具体的には、新規の相談や問い合わせが多くなる一方、これまでご利用になられていた介護度の高い方や長く利用されていた方々が当サービスを中止され、施設等に入居されることが多くありました。結果的に、新規申込者の受け入れを断ることなく、利用に繋げることができたことは、今年度の稼働率を達成できた要因の一つと考えています。

また、毎日発信しているInstagramについては、利用した日の様子がよく分かり、ご利用者様が家に帰ってから、本人と一緒に見て楽しんでいる等の声をご家族様から聞いたり、遠方のご家族様にもご利用者様の様子を確認していただけることで、たいへん喜んでいただいております。時には、投稿へのコメントもいただくこともあり、インスタを通してご家族様との交流につながっております。引き続き大事に発信していきたいと考えております。

職員に関してはこの1年退職者はなく、毎日の終礼や会議等で気づきを伝えることでお互いの信頼関係も築けていると思います。職員の質も上がり、デイサービスの雰囲気もよく、笑顔あふれる居場所の提供が出来ていると捉えています。